平成２７年度

事業報告書

第　２０　期

自　平成２７年　４月　１日

至　平成２８年　３月３１日

社会福祉法人 天祐会

千葉県千葉市中央区新町17番地12

目　次

社会福祉法人天祐会概要 …… 2

各事業所別事業報告
法人本部（千葉市）…… 4
大佐和苑（富津市）…… 8
鋸南苑（鋸南町）…… 12
富士見苑（富津市）…… 16
天羽苑（富津市）…… 18
竜神苑（東庄町）…… 23
広尾苑（市川市）…… 27
請西苑（木更津市）…… 29
みらい保育園（千葉市）…… 35
広尾みらい保育園（市川市）…… 39
木更津みらい学舎（木更津市）…… 42
千葉みらい響の杜学園（千葉市）…… 43

１．法人概要

法　人　名	社会福祉法人　天祐会
法人設立年月日	平成 7 年 10 月 26 日
代　表　者　名	理事長　水野　茂
法 人 所 在 地	千葉県千葉市中央区新町 17 番地 12
電話番号・FAX 番号	電話：043-202-2727　　FAX：043-202-2737
従 業 員 総 数	367 名（平成 28 年 3 月 31 日現在）

２．理　念

私たちは「ご利用者様第一主義」を理念とし、「やさしさ」「思いやり」「あたたかさ」のある支援を心がけます。

３．沿　革

平成 7 年 10 月　社会福祉法人天祐会　設立
平成 9 年 4 月　ケアハウス大佐和苑　開苑
　　大佐和苑デイサービスセンター　開苑
平成 10 年 4 月　大佐和苑在宅介護支援センター　開苑
平成 11 年 4 月　特別養護老人ホーム鋸南苑（従来型）　開苑
　　鋸南苑ショートステイ（従来併設型）　開苑
平成 12 年 4 月　大佐和苑在宅介護サービス　事業開始
　　鋸南苑デイサービスセンター　開苑
平成 14 年 2 月　大佐和苑訪問入浴　事業開始
　　9 月　グループホーム富士見苑　開苑
　　富士見苑デイサービス　開苑
平成 16 年 1 月　鋸南苑ショートステイ　増築（ユニット型 4 名）
　　2 月　特別養護老人ホーム鋸南苑　増築（ユニット型 30 名）
　　7 月　グループホーム富士見苑　増築（9 名から 18 名定員へ）
　　8 月　グループホーム富士見の家　開苑
平成 18 年 12 月　グループホーム天羽苑　開苑
　　4 月　みらい保育園　開園
平成 19 年　3 月　天羽苑デイサービス　開苑
平成 20 年　4 月　特別養護老人ホーム竜神苑　開苑
　　10 月　小規模多機能ホーム竜神苑　開苑
平成 22 年　2 月　特別養護老人ホーム広尾苑　開苑
　　4 月　広尾みらい保育園　開園
　　木更津みらい学舎　開園
平成 23 年　4 月　第２代理事長に石岡英明が就任
平成 24 年　3 月　請西苑デイサービスセンター、グループホーム請西苑　開苑
　　9 月　特別養護老人ホーム請西苑　開苑
平成 25 年　3 月　富士見の家　廃止

平成 25 年　4 月　天羽苑サービス付き高齢者向け住宅　開苑
平成 26 年　2 月　第 3 代理事長に水野茂が就任
平成 26 年　4 月　児童養護施設千葉みらい響の杜学園　開園
平成 26 年　7 月　千葉みらい響の杜学園子育て短期支援事業　開始

４．事業内容

○第一種社会福祉事業
　軽費老人ホーム大佐和苑の設置運営
　特別養護老人ホーム鋸南苑の設置運営
　特別養護老人ホーム竜神苑の設置運営
　特別養護老人ホーム広尾苑の設置運営
　特別養護老人ホーム請西苑の設置運営
　児童養護施設千葉みらい響の杜学園の設置運営
○第二種社会福祉事業
　老人デイサービス事業（大佐和苑）
　老人短期入所事業（鋸南苑）
　老人介護支援センター事業（大佐和苑）
　老人デイサービス事業（鋸南苑）
　老人居宅介護等事業（大佐和苑）
　認知症対応型老人共同生活援助事業（富士見苑）
　認知症対応型老人共同生活援助事業（天羽苑）
　老人デイサービス事業（天羽苑）
　保育所みらい保育園の設置運営
　老人短期入所事業（広尾苑）
　保育所広尾みらい保育園の設置運営
　地域子育て支援拠点事業（広尾みらい保育園）
　放課後児童健全育成事業（木更津みらい学舎）
　認知症対応型老人共同生活援助事業（請西苑）
　認知症対応型老人デイサービス事業（請西苑）
　子育て短期支援事業（千葉みらい響の杜学園）
○公益を目的とする事業
　居宅介護支援事業（大佐和苑）
　サービス付き高齢者向け住宅の経営（天羽苑）
○収益を目的とする事業
　建物賃貸業の経営（竜神苑）

〔法人本部〕（千葉市）

■　事業報告概要　■

法人の業務管理体制を強化するため、人事・処遇等の諸規程の見直しを行った。人材採用が困難な現状を打破するため、日系フィリピン人の現地採用で 6 名を確保、保育士は信越・東北の養成校回りを試み、順調な採用ができた。高齢者および児童福祉の新規事業を企画し、積極的に行政に提案した。法人創設 20 周年式典を半年かけて準備し、無事に終了した。

1. 実施状況

(1)行政提案

・特別養護老人ホーム大佐和苑計画を富津市に提案→不採択
・地域小規模児童養護施設ひまわりの家を千葉市に提案→保留
・認定こども園木更津みらいを木更津市と継続協議→平成 28 年度整備
・学童保育所木更津みらい会館を木更津市と継続協議→平成 28 年度整備

(2)法人研修会の企画・運営

・施設長研修は毎月の施設長会議に加えて、高齢者、児童の各部会で実施
・高齢者福祉系では職種別研修会に加えて、個別ケア研究、日本語研修を実施
・児童福祉系では、チーム保育や造形教育など公開研修形式で実施

(3)理事会及び評議員会開催状況

日　時	議会名	定足数 （理　事） （評議員） （監　事）	議　題
4 月 1 日	第一回 緊急役員会	10／10	①　第 10 期 新理事、新評議員及び新監事の選任結果報告 ②　理事長の選任 ③　理事長職務代理者の選任 ④　担当理事の選任 ⑤　各事業所の第三者委員の選任 ⑥　理事長報酬（理事長報酬規程） ⑦　木更津みらい学舎 運営規程変更案 ⑧　保険契約 ⑨　広尾苑 介護食導入案
5 月 16 日	第一回 定例役員会	10／10 20／21 2／2	【報告事項】 ①　緊急理事会 議事報告（平成 27 年 4 月 1 日開催） 【審議事項】 ①　平成 26 年度 事業報告 ②　平成 26 年度 決算報告

			③　平成 26 年度 理事長専決事項報告 ④　経理規程変更案（サービス区分削除） ⑤　千葉みらい響の杜学園　敷地拡張
7 月 11 日	第二回 定例役員会	10／10 20／21 2／2	【報告事項】 ①　千葉市指導監査結果報告（千葉みらい響の杜学園） ②　各種プロジェクト進捗 【審議事項】 ①　定款変更案（天羽苑・竜神苑 他） ②　経理規程変更案 ③　職員給与規程変更案（手当基準表） ④　ボランティア受入規程案（千葉みらい響の杜学園） ⑤　本部事務所賃貸契約更新 ⑥　鋸南苑･富士見苑 日系人採用仲介取引業者変更 ⑦　つばさグループ業務提携 ⑧　鋸南苑別館改修工事入札
9 月 12 日	第三回 定例役員会	10／10 18／21 2／2	【報告事項】 ①　千葉市指導監査結果報告（千葉みらい響の杜学園） ②　鋸南苑別館改修工事入札結果報告 【審議事項】 ①　施設長人事 ②　平成 27 年度 第一次補正予算案 ③　千葉みらい響の杜学園　敷地拡張
11 月 14 日	第四回 定例役員会	10／10 15／21 2／2	【報告事項】 ①　認定こども園木更津みらい 進捗 ②　特別養護老人ホーム「大佐和苑」プロポーザル結果 ③　千葉みらい響の杜学園 敷地購入 ④　広尾苑 苦情処理経緯 ⑤　鋸南苑・広尾苑 入居状況 ⑥　千葉県緊急監査（鋸南苑） ⑦　裁判進捗 【審議事項】 ①　積立預金目的外使用（取崩し） ②　積立預金目的外使用（拠点区分間繰入金） ③　経理規程変更案（特別会計追加） ④　介護報酬請求管理システム リース契約 ⑤　大佐和苑ボイラー交換 ⑥　平成 27 年度 第二次補正予算案 ⑦　建物基本財産処分（天羽苑サービス付き高齢者向け住宅）

3 月 5 日	第五回 定例役員会	9／10 19／21 2／2	【報告事項】 ① 認定こども園木更津みらい･学童保育所木更津みらい会館 進捗 ② 千葉市･千葉県 指導監査結果報告(みらい保育園、本部、広尾苑、広尾みらい保育園) ③ 天羽苑サービス付き高齢者向け住宅 事故報告 ④ 鋸南苑に対する千葉県緊急監査 ⑤ 鋸南苑・広尾苑 入居状況 ⑥ 裁判進捗 【審議事項】 ① 平成 27 年度第三次補正予算案 ② 平成 28 年度事業計画案 ③ 平成 28 年度当初予算案 ④ 定款変更 ⑤ 諸規程変更 ⑥ 保険契約 ⑦ 継続契約（自動更新） ⑧ マイクロバス購入 ⑨ 懲戒の検討

(4)施設長人事

役職名	氏名	在職期間
請西苑	石渡　隆之	平成 24 年 5 月 1 日　～　現在

(5)法人内会議の実施状況

実施年月日	主　た　る　議　題
4 月 21 日	① 役員会報告資料作成 ② 平成 27 年度上期 人事考課及び賞与支給の流れ ③ 平成 27 年度軽自動車減免申請 ④ 各種保険契約(火災・特約火災・社会福祉事業者総合保険) ⑤ 内部監査人選任（内部経理監査報告書）
5 月 19 日	① 平成 27 年度 指導監査(予定)
6 月 16 日	① 日本財団福祉車両申込み ② 求人一括掲載 ③ 入職者支度金（手当） ④ 人材紹介キャンペーン（手当）
7 月 21 日	① 平成 27 年度第一次補正予算
8 月 18 日	① 厚生年金保険料率変更 ② 障害者雇用納付金

	③ マイナンバー（社会保障・税番号）制度
9 月 15 日	① 最低賃金変更
10 月 20 日	① 平成 27 年度下期スケジュール 1. 平成 27 年度下期人事考課及び賞与支給の流れ 2. 平成 27 年年末調整 3. 平成 27 年度第二次補正予算 及び 平成 28 年度当初予算 4. 平成 28 年度事業計画
11 月 17 日	① 各作業進捗確認 1. マイナンバー取得 2. 平成 27 年年末調整 ② インフルエンザ予防接種 ③ 年末年始調整手当 ④ 平成 27 年度修繕費積立金･施設整備積立金 算出
12 月 15 日	① 平成 27 年度第三次補正予算 及び 平成 28 年度当初予算 ② 平成 28 年度事業計画 ③ 内部経理監査報告書
1 月 19 日	① 自動更新の契約とりまとめ ② マイナンバー介護保険手続きポイント ③ 新年度スケジュール案 ④ 平成 28 年度採用新卒者辞令交付式
2 月 16 日	① 平成 27 年度第三次補正予算及び平成 28 年度当初予算進捗 ② 平成 28 年度事業計画確認 ③ 年間休日増加に伴う労働条件変更 ④ 諸規程変更案 ⑤ 36 協定届及び就業規則変更届労基署届出
3 月 15 日	① 役員会報告資料作成 ② 社会保険料(介護保険料率)の変更 ③ 平成 28 年度辞令交付式日程表

〔大佐和苑〕（富津市）

■　事業報告概要　■

＜ケアハウス＞

平成 27 年度は、高齢者施設等の増設により競合の激化にある中、事業所・医療関係との連携の強化や個々の取り巻く生活環境に応じた速やかな受け入れ、又入居者の大幅な ADL 低下を未然に防いだ事により退居者が減少し、目標としていた満床を実現させる事が出来ました。

しかし、入居者の多様なニーズに対して即対応出来る体制・機能訓練を踏まえた室内レクリエーション等、皆様が十分に満足していただけるようなサービスを展開する事が出来なかった。今後はあらゆる方向から入居者のニーズを把握し、改善出来るよう努力していきたい。

＜デイサービスセンター＞

今年度は、常勤看護師の配置により、健康・医療面を強化することが出来、早期発見・早期対応に努め、状態を悪化させることなく、サービスが提供できた。ケアハウスからの利用者様は以前の倍数も利用されたが、外部利用者様の新規獲得に苦戦しました。が、28 年に入り増加傾向にあります。平成 28 年度も引き続き医療との連携、サービスの向上に努めます。

＜ケアハウス＞

1．実施状況

①サービス内容

○生活指導

・趣味活動の充実。

・充実した生活を送っていただく為の各種行事計画を実施した。

○栄養

・苑の菜園で収穫した新鮮な野菜を食卓に提供した。

・地元の協力を得て、地場の魚・野菜を積極的に取り入れた。

・選択メニュー・行事食等の工夫。

○健康管理

・体重測定・血圧測定を実施し苑でも健康チェックを行い、医師による定期的な健康診断や提携病院との連絡を密にし、健康管理を十分に行った。

○地域交流

・ボランティアを積極的に受け入れ、納涼祭行事を通し、地域の方々との交流を深めた。

・近隣の保育園・小中学校との交流を促進し、地域の子供たちとのふれあいの機会を持てるよう計画を行った。

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見バスハイク	10 月	日月神社祭礼見物、焼き芋会
5 月	端午の節句・菖蒲湯	11 月	佐貫小学校音楽集会・干し柿作り

6 月	青空食事会	12 月	紅葉狩りバスハイク、クリスマス会
7 月	七夕祭り	1 月	初詣
8 月	納涼祭	2 月	節分
9 月	佐貫小学校運動会・敬老会	3 月	桜壁飾り作り

2. 施設管理

①施設内職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	定例職員会議 基本理念	10 月	定例職員会議 プライバシー保護
5 月	定例職員会議 認知症対応	11 月	定例職員会議 防災訓練
6 月	定例職員会議 防災訓練	12 月	定例職員会議 介護技術
7 月	定例職員会議 食中毒対応	1 月	定例職員会議 事故防止対応
8 月	定例職員会議 緊急時対応	2 月	定例職員会議 インフルエンザの予防・対応
9 月	定例職員会議 虐待防止対応	3 月	定例職員会議 防災訓練

②防災計画

防火管理者を中心に防災計画を策定し、入居者の安全確保に努めるとともに、法令及び県の基準に基づき救急事態に備えて、以下の通り訓練を入居者・職員が合同で実施した。

・自主訓練　　6 月 27 日・11 月 25 日

・消防署立ち会い　3 月 28 日

＜大佐和苑デイサービスセンター＞

1. 実施状況

①サービスの内容

○居宅サービス計画を基本としたサービス提供

・入浴サービス

・健康チェック

・給食サービス

・レクリエーション活動

・機能訓練指導

・送迎サービス

○利用者の意向を尊重したサービス提供

・希望利用時間への対応

・介護事故防止のための検討と対応

○通所介護計画の作成

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見ドライブ	10 月	ミニ運動会
5 月	菖蒲湯・世代間交流	11 月	紅葉ドライブ・世代間交流
6 月	紫陽花見ドライブ	12 月	クリスマス会・世代間交流
7 月	七夕会・クッキング	1 月	初詣ドライブ
8 月	ミニ納涼祭	2 月	節分会（豆まき）
9 月	敬老会・クッキング	3 月	ひな祭り・梅花見ドライブ クッキング

＊その他、毎月お誕生日のお祝いを実施。

③地域交流

8 月　納涼祭　　12 月　保育所との交流会

2. 施設管理

①防災訓練(年 3 回実施、うち 1 回消防署立ち会い)

ケアハウスに準じる

②職員状況

・管理者 1 名（兼務）　・生活相談員 2 名（常勤 1 非常勤 1）

・介護員 6 名（常勤 1 非常勤 5）　・看護職員 3 名（常勤 1 非常勤 2）

＜大佐和苑在宅介護支援センター＞

1．実施状況

①処遇実績

○居宅介護支援事業者・介護予防支援事業

・ケアプランの作成・実施

○要介護認定訪問調査（各市町村委託）

・認定訪問調査の実施

2．施設管理

①職員状況

・管理者 1 名（兼務）

・介護支援専門員　4 名（専任 1 兼務 3）

○定員は介護支援専門員 1 名に対して介護給付 35 名、予防給付 8 名を上限とする。

＜大佐和苑在宅介護サービス＞

1．実施状況

①処遇実績

○居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としたサービス提供。

・身体の介護に関すること。

・生活の介護に関すること。

○利用者の意向を尊重したサービス提供。

・希望時間への対応。

・介護保険法に基づく適切なサービス内容の提供。

○通所介護等、他の介護保険サービス事業との連携。

○かかりつけ医等、医療事業者との連携。

○訪問介護計画の作成。

2．施設管理

①職員状況

・管理者　　1 名（兼務）

・提供責任者　　1 名

・訪問介護員　　3 名（兼務）

〔鋸南苑〕（鋸南町）

■　事業報告概要　■

＜特別養護老人ホーム＞

平成 27 年度は、当初より不安定な稼働から始まり、介護職員の人員不足により、やむを得ず、別館 2 のＤフロアー閉鎖、新規入所受入れを制限する状況となってしまった。後半以降は、職員の雇用と同時に新規入所を再開し、22 名の新入所を受け入れたものの、入院・退所が重なり、満床に至らず、大幅な収入減少を招いてしまった。修繕については、別館の老朽に伴い、2 階、3 階の居室・リビング床の改修工事を施工した。また、平成 28 年 1 月から 2 か月、鋸南町雇用創造協議会主催の『介護初任者研修』の実技演習会場としての要請を受け、ヘルパー室を提供し、地域との連携・交流を図った。社外研修については、介護職員の喀痰吸引等の研修修了者が現在 7 名の登録になっており、入居者へ随時対応が図れている。

＜ショートステイ＞

新規利用者の獲得もあったが、稼働率を上げるには至らなかった。鋸南町の地域包括支援センターからの緊急要請や、3 月末には、長期利用者の受入れ等にも対応した。

＜デイサービス＞

平成 27 年度は、施設入所・入退院等により、利用者の減少がみられた。新規利用者獲得へ向けて新たな改革が今後の課題となる。また、レクリエーションについては、特養入居者との交流、地域保育園園児・ボランティア参加の行事等、地域とのコミュニケーションを図った。

1. 実施状況

＜特別養護老人ホーム、短期入所生活介護＞

①サービス内容

・日常生活支援
・食事・入浴サービス
・利用者やご家族の相談や苦情解決対応、援助業務
・介護計画の作成
・身体機能訓練・健康管理
・余暇支援・買い物支援、その他

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	桜のお花見ドライブ（佐久間ダム）	10 月	ミニ運動会（フロアーにて）
5 月	鯉のぼり見学ドライブ（佐久間ダム）	11 月	ボランテイアの集い（鋸南町公民館）
6 月	あじさいドライブ（鋸山）	12 月	紅葉ドライブ（志駒）、X マス会
7 月	手持ち花火大会（玄関前）	1 月	初詣（勝山神社）
8 月	富楽里で岩井の花火大会見学	2 月	節分、豆まき大会

9 月	保田祭礼	3 月	ひな祭り・写真撮影

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護の仕事って何ですか？の研修会 尿道カテーテルについて	10 月	ユニットリーダー研修（1 名）） 喀痰吸引等研修（亀田総合病院 2 名）
5 月	認知症高齢者への対応と地域ケアの連携	11 月	
6 月	介護記録の書き方（介護員 2 名）	12 月	喀痰吸引等研修（ニッソーネット 2 名）
7 月	安房地域看護勉強会①感染予防	1 月	認知症について理解を深める 事例検討会（介護 2 名） 認知症について
8 月	安房地域看護勉強会 ②疼痛マネジメント 誤嚥と窒息の予防と対策について	2 月	高齢者虐待防止についての講演（2 名）
9 月	安房地域看護勉強会③褥瘡予防	3 月	

②消防訓練（年 3 回実施）

9 月 27 日　避難訓練（消火・避難）

2 月 21 日　避難訓練（消防立会い）

3 月 27 日　避難訓練（夜間想定）

③職員配置

・施設長1名　・副施設長1名　・介護支援専門員1名　・生活相談員1名

・事務主任1名　・事務員1名　・用務員3名

・看護師 4 名（パート含む）　・機能訓練指導員 2 名（兼務）　・介護員 38 名（パート含む）

・管理栄養士1名　・栄養士1名　・調理員7名（パート含む）

＜鋸南苑デイサービスセンター＞

1. 実施状況

①サービス内容

・入浴サービス
・健康チェック
・給食サービス
・レクリレーション活動
・機能訓練指導
・送迎サービス
・通所介護計画の作成

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	桜お花見ドライブ（佐久間ダム）	10 月	秋のミニ運動会・芋掘り・コスモスドライブ（富楽里）
5 月	あじさい花作り・昼食作り・夏野菜の苗植え	11 月	焼き芋大会・紅葉ドライブ・Xマス飾り作り・貼り絵
6 月	じゃが芋の収穫・ヘチマの植替え・スイカの苗植え・あじさいドライブ（鋸山）・おやつ作り・七夕飾り作り	12 月	紅葉ドライブ・Xマス作り・昼食作り・保育園児来苑Xマス会
7 月	保育園児ボランテイア来苑・おやつ作り・夏野菜の収穫・うちわ作り・七夕飾り	1 月	鋸南苑神社・初詣・どんど焼き・選べるおやつ・節分準備・貼り絵
8 月	夏祭り・すいか割り・貼り絵	2 月	節分・豆まき・雛人形飾り付け・種まき（スナップえんどう、じゃが芋）・おやつ作り（のり巻き）・桜作り
9 月	敬老の日のお祝い・貼り絵・菜花、大根の苗植え・おやつ作り（おはぎ）	3 月	おやつ作り（ぼたもち）・ボランテイア来苑・桜作り・桜のお花見ドライブ

2. 施設管理

①職員研修

月	内容
4 月	安全運転管理者の研修
7 月	鋸南病院で感染症についての研修
12 月	介護保険担当者研修会（集団研修）

②消防訓練（年 3 回実施）

9 月 27 日　避難訓練（消火・避難）

2 月 21 日　避難訓練（消防立会い）

3 月 27 日　避難訓練（夜間想定）

③職員配置

・センター長 1 名　・相談員 1 名　・看護師 1 名　・介護員 3 名（パート含む）

〔富士見苑〕（富津市）

■　事業報告概要　■

平成 27 年度利用状況は､4 月時点で 18 名定員のうち､16 名の方がご利用されていました｡その後、2 名入所されましたが、5 名の方がお亡くなりになり、利用者は 13 名まで減少している状況です。この為、病院や他施設ケアマネ等に働きかけ利用者獲得に努めております。

職員確保につきましては、正職員 4 名（2 名は日系フィリピン人職員）パート職員 1 名が入職し人員体制は回復しております。

ご利用者支援では職員が増加した事により、外出支援や施設行事の実施が可能になり、ご利用者に変化のある生活と生活の活性化を図る事が出来ました。

＜グループホーム＞

1．実施状況

①基本理念

○利用者が安心して「普通の暮らし」を送れる家庭的な生活環境を提供する。
○共同生活を通じて利用者の残存機能の活用を促す。
○職員は「知識・技術・心」の向上を図り、利用者の暮らしを守り支援する。
○家族との信頼関係の強化と維持に努める。
○医療及び行政との連携を強化する。
○地域と共にある施設、地域にねざした施設とする。
○施設の運営に関し、法令を順守し、虐待防止や身体拘束及び類似行為を防ぐ。
○情報開示に努め、開かれた施設運営を行う。

②事業内容

○認知症高齢者グループホーム介護計画の作成
○相談・援助業務
○食事サービス
○入浴サービス
○排泄介助、整容その他日常生活の世話
○機能低下予防訓練
○健康管理
○余暇支援、通院介助、買い物介助、その他支援
○利用者に対して計画的にアクティビティを実施
○口腔ケアの実施

③年間行事

月	内容	月	内容
4 月	花見・ドライブ	10 月	外食会　避難訓練（火災）

5 月	外食会	11 月	外食会・紅葉見学
6 月	東京湾観音参拝	12 月	クリスマス会　推進会議
7 月	ドライブ	1 月	初詣・ドライブ
8 月	ドライブ	2 月	節分・外食会
9 月	ぶどう狩り　推進会議	3 月	イチゴ狩り、推進会議、避難訓練（地震）

2. 施設管理状況

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	人権について	10 月	バリデーションについて
5 月	高齢者の健康チェック	11 月	音楽療法
6 月	食中毒について	12 月	認知症ケアの法則
7 月	熱中症の予防方法と対処法	1 月	バイステックの 7 原則
8 月	状態観察と緊急時の対応	2 月	ケース記録の目的
9 月	ユニットケアについて	3 月	身体拘束について

②防火訓練｛消火・通報、避難｝年 2 回実施

夜間想定・地震津波避難訓練　役割分担に応じ実施

防火設備取り扱い訓練　防火管理者による説明・指導

災害時想定・緊急対応訓練　防火管理者による説明・指導

③職員配置

2 ユニット 統括管理者苑長 管理者・計画作成担当者 常勤 1 名〔介護支援専門員〕

管理者・計画作成担当者 非常勤 1 名

介護職員 13 名　（非常勤 3 名）

〔天羽苑〕（富津市）

■　事業報告概要　■

＜グループホーム＞

今年１年、職員の定着化を目指してきました。数名の方が入職しましたが、全て数日勤務し退職という結果となってしまい､結局去年の３月と今年の３月現在の職員は全く同じメンバーとなりました。職員も高齢になっているので、若い職員を確保したいです。運営面ではあと１つの居室が空いていますので、早期に満床目指していきたいと思います。

＜デイサービス＞

今年度営業日は 262 日で総利用人数は 1，446 名、１日平均 5.5 人の利用数でした。4 月当初は登録人数 15 名でしたが、病気等で利用中止になる事が多く発生し、3 月末現在で 12 名となってしましました。小規模通所介護は 4 月から地域密着型通所介護となる為、更なる地域との繋がりを持つデイサービスとして行っていきたいと考えます。

＜サービス付き高齢者向け住宅＞

平成 27 年度当初は３名の入居でした。しかし 11 月に１名の方が行方不明となり結果、お亡くなりになってしまい、ご主人も退去され現在は入居者１名です。待機者も現在の所おりません。現在入居されている方も車椅子状態でサ高住での生活は徐々に厳しい状態になってきています。今後の運営が更に厳しくなります。

＜グループホーム＞

1．実施状況

①サービス内容

・日常生活支援
・食事・入浴サービス
・利用者や家族の相談や苦情解決対応、援助業務
・介護計画の作成
・身体機能訓練、健康管理
・余暇支援、買い物支援、その他
・地域運営会議の実施

②年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見	10 月	ミニ運動会、折り紙アート見学、天神山小学校グランドゴルフ参加
5 月	菖蒲見学（袖ケ浦公園）、アイリス見学	11 月	紅葉見学（鹿野山）
6 月	ボランティア来苑（ばら座コーラス）	12 月	クリスマス会（ばら座コーラス来苑）
7 月	七夕会、出前の日	1 月	初詣（東京湾観音）水仙見学（佐久間

			ダム）敬老会、ぶどう狩り
8 月	そうめん流し	2 月	節分、天神山小学校交流会
9 月	ドライブ外出（アロハガーデン館山）、敬老会、ぶどう狩り	3 月	ひなまつり会、出前の日、ボランティア来苑（五十鈴会）

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護保険制度	10 月	緊急時の対応（救急）
5 月	AED の使い方	11 月	緊急時の対応（災害）
6 月	食中毒の予防・対策	12 月	高齢者の疾病
7 月	熱中症の予防・対策	1 月	インフルエンザの予防・対策
8 月	虐待防止について	2 月	ノロウイルスの予防・対策
9 月	認知症について	3 月	身体拘束について

②消防訓練（年 2 回）

防災訓練（消火、通報、避難）、夜間想定訓練、防災設備関係の取り扱い方、地震・災害対策

③職員配置

管理者 1 名（常勤兼務）

計画作成担当者 1 名（常勤介護支援専門員・介護職員兼務）

介護職員 5 名（常勤 3 名、非常勤 2 名）

④苦情解決体制

事業所における苦情等については、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員 2 名を置き、ご利用者、ご家族様からの苦情に対応いたします。

＜デイサービス＞

1. 実施状況

①サービス内容

・健康チェック、入浴サービス、給食サービス、レクリエーション活動、送迎サービス、ご利用相談、通所介護計画の作成　等

②行事

月	内容	月	内容
4 月	桜のお花見ドライブ、誕生会	10 月	運動会
5 月	ジャーマンアイリス見学ドライブ	11 月	紅葉見学（アカデミアパーク）
6 月	紫陽花見学、コーラスボランティア来苑	12 月	手話サークル来苑、クリスマス会、誕生会
7 月	七夕会	1 月	水仙見学、誕生会
8 月	そうめん流し、誕生会	2 月	節分会、河津桜見学、誕生会
9 月	ぶどう狩り	3 月	日舞ボランティア来苑、ひな祭り会、誕生会

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	職員会議、介護保険制度について	10 月	職員会議、介護保険制度について
5 月	職員会議、ＡＥＤの使い方について	11 月	職員会議、事故防止について
6 月	職員会議、食中毒について	12 月	職員会議、インフルエンザについて
7 月	職員会議、熱中症について	1 月	職員会議、緊急時の対応について
8 月	職員会議、高齢者の持病について	2 月	職員会議、ノロウイルスについて
9 月	職員会議、身体拘束について	3 月	職員会議、虐待について

②消防訓練（年 2 回）

グループホームと併せて実施

防災訓練（消火、通報、避難）、防災設備関係の取り扱い方、地震・災害対策

③職員配置

管理者 1 名（常勤生活相談員兼務）

看護職員 1 名（機能訓練指導員兼務）

介護職員 3 名（非常勤）

④苦情解決体制

事業所における苦情等については、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員２名を置き、ご利用者、ご家族様からの苦情に対応いたします。

＜サービス付き高齢者向け住宅＞

1. 実施状況

①サービス内容

・食事の提供
・健康管理
・安否確認（夜間は緊急通報システムにて対応）
・生活相談サービス

②年間行事

月	内容
9月	そうめん流し
1月	ドライブ外出（鋸南町）

2. 施設管理

①消防訓練（年2回）

防災訓練（消火、通報、避難）、夜間想定訓練、防災設備関係の取り扱い方、地震・災害対策

②職員配置

管理者1名（常勤兼務）
サービス相談員1名（非常勤兼務）

③苦情解決体制

事業所における苦情等については、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員2名を置き、ご利用者、ご家族様からの苦情に対応いたします。

〔竜神苑〕（東庄町）

■　事業報告概要　■

平成 27 年度は入居者数 28 名でスタートした。年度内に 8 名の退所者があったが、常時満床を意識して退所月内に新規入居者を選定し期首の空床を含め 9 名の入居者を迎えた。入退去に際しては職員も対応に追われたが期末は満床で締めくくることができた。退去理由はいずれも終末期入院のためであったが施設入居者や職員においてはインフルエンザ等感染症の罹患なく安定の状態で過ごすことができた。3 月末における平均介護度は 4、平均年齢 85.8 歳で男性の入居者が増加傾向にある。職員の退職者は 1 名、現体制維持で定着の兆しを見せているが、家族の介護や育児問題など個別の対応が必要となることもあった。重ねて、健康面において入居者はもとより、職員のメンタル面への支援が課題となる一年であった。又、地域交流の場としての施設目標を発信し福祉サービス向上の為の活動を積極的に受け入れ地域からは高い評価を頂くことが出来た。

＜特別養護老人ホーム＞

1．実施状況

①サービス内容

○地域密着型施設サービスの策定

1 日 24 時間の暮らしを意識し支援内容の見直しを行った。

○利用者や家族の相談や苦情対応及び援助業務

家族からのご意見や苦情、さらには業務上気づいた事案に対して黙視することなく真摯に受け止めその改善に努めた。

○食事サービス

個々の状態に即し好みや栄養量を配慮した食事提供に努め、食事への期待感や楽しみを　感じられるよう各ユニットでの活動を工夫した。

○入浴サービス

着替えの準備から入居者の意向が反映され入居者の安全で安心を配慮した入浴時間の提供に努めた。

○排泄サービス

個々の状況を把握しそれぞれのタイミングにあわせた支援を行った。

○日常生活の支援

個々の一日の生活を評価しそれぞれの２４時間の暮らしの流れにそった支援を心がけた。

○機能訓練

すこやかクラブへの参加や日常生活の活動を支援することで心身の活性に努めた。

○健康管理

24時間体制での医療相談や助言を嘱託医にて実施し変化に遅延無き対応を行った。入院受け入れについては協力病院と連携し適時適切な対処が出来た。

○社会生活上の支援

家族意向をうけ入居者の選挙への参加、祝賀行事参加への支援を行った

○地域福祉事業への協力

介護予防事業（すこやかクラブ）や外国人研修（保健師）の受入れ、施設見学などの受入れを積極的に行い地元に求められる活動展開を行った。

○運営推進会議の開催

年間3回の開催となった

②年間行事

月	内容	月	内容
4月	お花見ドライブ	10月	竜神苑　運動会
5月	こどもの日会食　つつじ見学 演遊座慰問	11月	竜神苑　第１回文化祭
6月	衣勇会夢一座慰問	12月	訪問演奏（海上中学校吹奏楽部） クリスマスパーティー
7月	すいか割り	1月	初詣　さわやかねっこの会慰問
8月	出羽の海部屋力士との交流会 竜神苑　納涼祭	2月	衣勇会夢一座慰問 節分祭　豆まき
9月	敬老会（神代保育園園児訪問）	3月	カラオケ大会

2. 施設運営管理

①施設内職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4月	認知症について（認知症の人の思い）	10月	感染予防について
5月	入浴：「お風呂」という生活の支援について	11月	菜の花ユニット研修（言葉使い・声掛け）
6月	体調変化時の対応について	12月	身体拘束廃止について
7月	排泄の自立支援について	1月	接遇について
8月	梅ユニット研修　梅ユニットの取り組み	2月	ノロウイルス感染症発症時の対応実地研修
9月	認知症（レビー小体型認知症）について	3月	ユニットケア研修

②外部研修

月	研修受講内容
6月	自立支援介護「オムツゼロ」運動へ取り組みについて
7月	食中毒とレジオネラ症について（外部講師を招いて）
8月	腰痛予防について

9 月	香取海匝地区リハビリ研修会 クリニカルパス講演会
10 月	看護師技能研修会　（感染予防について）
11 月	認知症研修会～コミュニケーションと食事 感染予防～消毒薬の効果について　（外部講師を招いて）
12 月	喀痰吸引研修 感染予防・キャリアアップ段位制度について（外部講師を招いて）
1 月	香取海匝地区リハビリテーション講演会　「頸部触診法のすすめ」　看護師 高齢者権利擁護・身体拘束廃止指導者養成研修
2 月	ユニットリーダー研修 認知症の人と共に歩むまちづくりを目指して 認知症サポーター養成講座（講師を招き年度内に全職員受講した） 楽々セミナー

②防災訓練

5 月 31 日（避難・通報・消火訓練 消火設備取扱い指導）
7 月 23 日（緊急連絡網伝達訓練）
9 月 20 日（ネクスト東庄合同避難通報消火訓練）
12 月 30 日（通報訓練　消火設備取扱い指導）
3 月 11 日（ネクスト東庄合同　避難通報消火訓練）
（シェイクアウト訓練）

③職員配置

施設長 1 名（介護支援専門員と兼務）　生活相談員 1 名　用務員 2 名
栄養士 1 名　調理員 2 名　看護職員 2 名（常勤 1 名　非常勤 1 名）
介護職員 17 名（常勤 14 名　非常勤 3 名）　機能訓練指導員（看護職員との兼務）

④その他

昨年度はユニットケアの原点に立ち返り入居者が有意義に暮らせるケアの在り方を探ってきたが今年度はより具体的な取り組みが実現した。近隣地域の中学校や保育所との交流や文化祭などの初めてのイベントにも意欲的に挑戦し入居者と職員が、共に取り組み、共に達成感を味わうことが出来た。運営面では加算要件を満たし算定を継続することで基盤の安定を図ることも出来た。

また、入居申し込み者に対しては定期的な評価を行うことで現状を把握し、近隣施設や病院などとも情報交換行い待機者の獲得に努めた。地域密着の利点を生かし幅広い視野を以て誰もが安心して暮らせる地域作りに貢献していきたい。

＜収益事業　賃貸＞

1．実施状況

リハビリデイサービス事業所ネクスト東庄への建物（旧小規模多機能ホーム）賃貸を継続、避難訓

練や研修を合同で行うなど事業所間の良好な関係作りに努めた。利用者との交流も含め東庄町の介護予防事業を通して竜神苑の入居者も共に交流できる体制を構築した。その結果ネクスト東庄を利用中の家族からの入居申しみが２件ほどあり、今後は更なる連携体制の充実が課題となる。

〔広尾苑〕（市川市）

■　事業報告概要　■

＜特別養護老人ホーム＞

平成 27 年度も平成 26 年度に続き職員が安定せずに、厳しい状態が続いた。新入職員を数名確保したものの、体調不良での欠勤・半年たっても独り立ちできない等、戦力としては今ひとつであり、新人の育成に課題が残る 1 年となった。

＜ショートステイ＞

平成 28 年 1 月より新規の申込が増え、リピーターのみではなく、新規・長期の利用者様を獲得することができた。比較的、介護度の軽い利用者様が増えたため、夜間帯での利用者様の動きが活発であり 3 月は夜勤者を 1 名増員して対応した。

＜特老・ショート共通＞

1. 実施状況

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見ドライブ（浦安さくら通り）	10 月	映画鑑賞会「男はつらいよ」
5 月	映画鑑賞会「続・男はつらいよ」	11 月	カラオケ大会
6 月	お散歩(広尾公園・バラ園)	12 月	クリスマスパーティー
7 月	七夕	1 月	初詣
8 月	夏祭り	2 月	豆まき
9 月	敬老会（保育園合同）	3 月	映画鑑賞会「伊豆の踊子」

2. 施設管理

①職員研修

・施設内研修

月	内容	月	内容
4 月	チームケアの実践	10 月	認知症ケア
5 月	高齢者を理解する	11 月	感染症について 2（インフルエンザ・ノロウイルスの傾向）
6 月	感染症対策 1	12 月	個別ケアについて
7 月	虐待防止と拘束の廃止	1 月	介護のトレンド
8 月	高齢者の食生活と口腔ケア	2 月	急変時の対応
9 月	摂食・嚥下障害	3 月	介護保険について

・施設外研修

月	内容
6 月	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修(専門課程) 高齢者の支援と死生観
7 月	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修(基礎課程)
9 月	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修(基礎課程) 摂食・嚥下障害患者への対応
1 月	認知症ケア
2 月	ユニットリーダー研修
3 月	看護と倫理・道徳について 先輩社員ブラッシュアップセミナー 摂食・嚥下リハビリテーション研修会

②消防訓練

5 月 18 日　　総合訓練（通報・避難・消火）

10 月　9 日　　総合訓練（通報・避難・消火・夜間想定）

2 月 18 日　　消火及び避難訓練

③職員配置

施設長 1 名　　介護支援専門員兼相談員 1 名　　看護師 4 名　　事務員 1 名

介護員 23 名　　用務員 2 名　　栄養士 1 名　　調理員 5 名

合計　38 名

■　事業報告概要　■

＜特別養護老人ホーム＞

平成 27 年度は入居者様の入れ替わりと、入退院があり、年の稼働率は 97%となりました。地域のボランティアの活用や学童施設との交流もさかんに行うことができましたが、職員不足解消の為、人材紹介にて職員を増やした為、今後は社内、社外の研修を通じての「介護の質の向上」が次の課題となっています。

＜グループホーム＞

平成 27 年度は 1 室、入院と退居をあわせ実質半年間の空室状態があり、年の稼働率は 92%となりました。今後は待機者獲得と関わり方が課題となります。入居中のご利用者様に関しては病状も安定しており、隣接する学童保育との交流もさかんに行うことができたため、請西苑の特色を生かすことにつながりました。職員の人員確保もできた為、特養と同様に「介護の質の向上」が課題となります。

＜デイサービスセンター＞

平成 27 年度は、施設入居や病状悪化のためご利用回数を減らしたり、中止になる利用者様と新規利用者様がおり、そのため登録者数の横這いがみられています。認知症専門のデイサービスということもあり、認知症ケアのプログラムを使用したレクリエーションの取り入れなど実践をしました。新規利用者様の獲得と稼働率の向上が今後の課題となります。

＜特別養護老人ホーム＞

1. 実施状況

1）入居利用者の介護計画作成
2）相談・援助業務
3）食事サービス
4）入浴サービス
5）排泄介助、整容その他日常生活の支援
6）機能訓練
7）健康管理
8）余暇支援、買い物介助その他
9）運営推進会議をおおむね 3 ヶ月に 1 回実施
10）利用者に対して計画的にアクティビティを実施

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見	10 月	ハロウィン（学童）
5 月	こいのぼり見学	11 月	職業体験（近隣小学校）
6 月	野菜の収穫 運営推進会議	12 月	クリスマス会 運営推進会議

7月	七夕会　スイカ割	1月	鏡開き
8月	納涼祭・太鼓（ボランティア）	2月	節分行事
9月	敬老会（学童） 運営推進会議　防災訓練	3月	ひな祭り、運営推進会議

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4月	介護の心構えについて	10月	移動・移乗について
5月	認知症について	11月	事故防止について
6月	感染症予防について	12月	感染症予防について
7月	身体拘束・虐待予防について	1月	排泄について
8月	食事・口腔ケアについて	2月	身体の清潔について
9月	介護の心構えについて	3月	褥瘡予防について

②防災訓練

7月29日　火災を想定した避難訓練・ＡＥＤ講習（消防署立会い）
12月16日　地震を想定した避難訓練
3月31日　総合避難訓練

③職員配置

施設長1名（兼務）　介護支援専門員1名　生活相談員1名　事務員2名
看護師3名（非常勤2名）　機能訓練指導員1名（兼務）　介護員17名（非常勤4名）
管理栄養士1名　調理員5名（非常勤3名）　用務員1名　嘱託医1名

平成27年度は近隣小学校や地域ボランティアなどの地域交流がさかんに行われました。入居様が明るく、楽しみを持つ生活環境ができてきました。

＜グループホーム＞

1. 実施状況

1）認知症高齢者グループホーム介護計画の作成
2）相談・援助業務
3）食事サービス
4）入浴サービス
5）排泄介助、整容その他日常生活の世話
6）機能訓練
7）健康管理
8）余暇支援、通院介助、買い物介助その他
9）運営推進会議をおおむね３ヶ月に１回実施
10）利用者に対して計画的にアクティビティを実施
11）口腔ケアの実施

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見見学	10 月	運動会、ハロウィン
5 月	こいのぼり見学	11 月	もみじ見学　さつま芋ほり 職業体験（近隣小学校）
6 月	ドライブ、紫陽花見学、芋ほり 運営推進会議	12 月	クリスマス会 運営推進会議
7 月	七夕会	1 月	鏡開き、正月参り
8 月	納涼祭・花火大会	2 月	節分行事
9 月	敬老会　運営推進会議 ぶどう狩り	3 月	ひな祭り行事　いちご狩り 運営推進会議

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護の心構えについて	10 月	移動・移乗について
5 月	認知症について	11 月	事故防止について
6 月	感染症予防について	12 月	感染症予防について
7 月	身体拘束・虐待予防について	1 月	排泄について
8 月	食事・口腔ケアについて	2 月	身体の清潔について
9 月	介護の心構えについて	3 月	褥瘡予防について

②防災訓練

7 月 29 日　　火災を想定した避難訓練・ＡＥＤ講習（消防署立会い）

12 月 16 日　　地震を想定した避難訓練

3 月 31 日　　総合避難訓練

③職員配置

・管理者　1 名（兼務）　・計画作成担当者　1 名

・介護職員　常勤 6 名

隣接する学童保育との交流や、地域のボランティアによる催し物の開催などを行いご利用者様が、楽しみや喜びをもっての生活ができたと思います。

＜請西苑デイサービスセンター＞

1. 実施状況

1）居宅サービス計画（ケアプラン）を基本としたサービス提供

入浴サービス、健康チェック、給食サービス、レクリエーション活動、機能訓練指導、送迎サービス

2）訪問介護等、他の介護保険サービス事業者との連携

3）かかりつけ医等、医療事業者との連携

4）通所介護計画の作成

①年間行事

月	内容	月	内容
4 月	お花見見学	10 月	ハロウィン参加
5 月	こいのぼり見学	11 月	紅葉見学、職場体験（近隣小学校）
6 月	あじさい観賞会	12 月	クリスマス会
7 月	七夕会、スイカ割	1 月	初詣
8 月	納涼祭参加	2 月	節分行事、防災訓練
9 月	敬老会	3 月	ひな祭り行事

2. 施設管理

①職員研修

月	内容	月	内容
4 月	介護の心構えについて	10 月	移動・移乗について
5 月	認知症について	11 月	事故防止について
6 月	感染症予防について	12 月	感染症予防について
7 月	身体拘束・虐待予防について	1 月	排泄について
8 月	食事・口腔ケアについて	2 月	身体の清潔について
9 月	介護の心構えについて	3 月	褥瘡予防について

②防火訓練

7 月 29 日　　火災を想定した避難訓練・ＡＥＤ講習（消防署立会い）

12 月 16 日　　地震を想定した避難訓練

3 月 31 日　　総合避難訓練

③職員配置

・管理者　1 名（兼務）　　・生活相談員 1 名

・介護職員　1 名　・看護職員　1 名（特養と兼務）

利用者様と一緒に折り紙や、ちぎり絵、工作等で、フロアーの飾りつけを行い季節ごとに雰囲気を変え喜んでいただき、次回利用を楽しみにしていただくことができたと思います。

〔みらい保育園〕（千葉市）

■　事業報告概要　■

平成 27 年度は定員の 20%増として職員配置もし、千葉市の目指す所の待機児童 0 に伴い運営ができた。また、9 年目ということで「心」をテーマとし、職員と保護者と心を一つにし、子どもたちの育ちを共に考えた様々な行事をそれぞれの得意を活かしながら展開する事が出来た。そして、子どもたちが作り上げた作品や遊びや野菜などを使い、他県や市内や他国からの現場研修などを受ける事により職員の意識も高まり、子どもたちも地域の様々なイベントに参加し経験を深める事で自信につながる保育ができた。

1．実施状況

①サービス内容

○「遊び」の中から様々な生活習慣や文化を獲得する。
○異年齢児や職員・保護者・地域の人々との関わりを通して、人間が成長し、地域社会で生きていく上で必要な「人と人とのつながり」の大切さを学ぶ。
○保護者との連携を取り、保育にあたるという「共に育む」という意味での共育を理解できるよう保護者自身の支援を行う。
○苦情受付・解決方法の具現化を図る。全職員において、統一した対応方法の理解を徹底する。

②保育事業

A　通常保育事業（月～土　7 時～20 時実施）定員 120 名（144 名）
B　特定保育事業（月～土　8 時～18 時実施　就労している市民を対象とする）
C　一時保育（月～土　8 時～17 時実施　土曜日は午前のみ）
D　休日保育事業（日曜日・祝日　7 時～18 時実施）
E　地域交流（海浜小・見浜園・年頭視閲・老人ホーム・養護施設・マレーシア）

③厨房部門

A　食育活動（和食の献立の充実）
B　衛生管理の徹底（職員の健康管理）
C　アレルギー対応の徹底（誤食のおこらない環境）
　＊アレルギー対応マニュアルを基に声がけと事務所のチェックの徹底～複数確認

④看護部門

A　平成 25 年度より保護者への「ほけんだより」配布と視力検査を始める。

⑤防災部門　毎月訓練を行う中で必要なものを話し合い、防災用品（食糧・水・靴・おんぶ紐等）ホールの裏に避難用の倉庫を設けた。

月	内容	月	内容
4 月	地震・不審者対応	10 月	地震（食事中）○消防署消防訓練届出実施
5 月	地震・津波	11 月	地震（午睡中）
6 月	地震・津波（散歩中）	12 月	地震・火事・津波

7月	地震・火事	1月	地震（延長保育中）
8月	不審者対応	2月	地震・津波　〇消防署消防訓練届出実施
9月	地震・火事・津波	3月	地震・津波

⑥年間行事～テーマ『こころ』をテーマとして法人理念を見直した活動に取り組む。

月	内容	月	内容
4月	始めましての会　誕生会（毎月） マレーシア交流	10月	運動会　芋煮会　茨城保育職員視察 芋掘り遠足　バス遠足　ハロウィン
5月	端午の節句　試食懇談会　神田外語交流 カレーパーティ	11月	試食懇談会　美浜園灯籠 小学校との交流　保育現場研修造形
6月	芋掘り遠足 陶芸　マリンズダンス交流	12月	造園花植え活動　クリスマス会 イオンクリスマスイベント参加
7月	夕涼み会　美浜園七夕灯籠 お泊り保育	1月	もちつき会 年頭視閲
8月	花火大会：響の杜交流 交通安全教室	2月	節分　卒園遠足 マラソン大会
9月	お月見　県内高校職員視察 チーバ君との交流	3月	ひな祭り 卒園式

2.施設運営管理

①施設内職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4月	定例会議（未満児・以上児・係） 職務分担・保育課程・クラス日課	10月	定例会議（未満児・以上児・係） 不審者対策研修・下記の研修報告
5月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告	11月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告
6月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告	12月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告
7月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告	1月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告
8月	定例会議（未満児・以上児・係） 心肺蘇生研修・下記の研修報告	2月	定例会議（未満児・以上児・係） 下記の研修報告
9月	定例会議（未満児・以上児・係）	3月	定例会議（未満児・以上児・係）

	下記の研修報告		下記の研修報告

月	研修受講内容
5 月	絵本の読み聞かせ 保育セミナーinCHIBA2015 2 歳児の発達と保育 育てにくい子にはわけがある
6 月	素敵なダンスで運動会 保育内容の充実と保育の振り返りについて 0 歳児の発達と保育 給食施設　栄養・衛生管理研修会 予防接種のリスクマネジメント 口をめぐるトラブルと向き合う
7 月	子どもの社会性の発達について 乳児保育研修 日々の保育を深めるために 0・1・2 歳児のつながりあそび講座
8 月	手作りおもちゃと体と心を育てる遊び講座 発達障害講座 つながりあそび・うたサマー・カレッジ サマースクール おもちゃコーディネーター養成研修
9 月	保育と連動した食育について 保育内容の充実と保育の振り返りについて 保育者の質の向上につながる 子どもの発達と食育について
10 月	子どもの心に寄り添うとは 小児～外傷・救急疾患～プレホスピタルケアセミナー 生き生きと遊べる子どもをめざして 保育界の動向とこれからの保育園のあり方
11 月	身近な道具で体力再生 子どもの個の育ちについて 日々の保育を深めるために 保育と連動した小児保健について 子どもも大人も楽しめる小ネタあれこれ
12 月	保育と連動した食育について

	保育内容の充実と保育の振り返りについて 乳児期に起こりやすい皮膚トラブルとスキンケア
1月	保育向上委員 給食の運営管理を適切に行い保育と連動した食育推進 保育所における家庭支援 保育と連動した知識と技術を身に付ける 関わりの難しい幼児たち
2月	保育向上委員 ホシザキ研修（アレルギー対応・食中毒）
3月	食物アレルギー対応について 民保協新任研修

〔広尾みらい保育園〕（市川市）

■　事業報告概要　■

平成 27 年度は、年度初めより定員以上の児童を受け入れる事ができ、大きな事故や怪我・苦情もなく、各年齢の発達を踏まえた保育を行う事ができた。また、それぞれが担当する年齢や行事にあった研修（施設内・外）に参加させ、保育士の質の向上を目指した。　一時保育事業では、述べ利用人数が千人以上となり、子育て支援センター事業では利用人数が約 6 千人となり、地域のニーズに応える事ができた。

1．実施状況

①通常保育　月～金　7：00～20：00　　土曜　7：00～18：00

年末休日保育　12 月 29、30、31 日　　8：00～17：00

※休日保育以外は、延長保育時間を含む。

○一時保育　月～金　9：00～17：00

●一時的に保育が困難（通院・通学等）な方

●育児中のリフレッシュを必要とされる方

●認可保育園の入園基準（概ね月 64 時間以上）に満たない就労の方等の理由にて児童を受け入れ。

○子育て支援センター「結」月～金　9：30～12：30　13：30～16：00

●「子育て相談」に対するアドバイス。

●親子で自由に遊べる（過ごせる）場の提供。

●母親（父親）同士が自由に話し合える場の提供。

●毎月行事（試食会・親子クッキング・製作等）の企画をし、参加利用して頂く。

②年間行事　＊防災訓練は、毎月１回実施。

月	内容	月	内容
4 月	はじめましての会	10 月	芋ほり遠足（5 歳児）、お散歩遠足（3・4 歳児）、運動会、ハロウィン
5 月	クラス懇談会、芋苗遠足（5 歳） お散歩遠足（3・4 歳）	11 月	内科健診 お散歩遠足（2 歳児）
6 月	内科健診、歯科検診	12 月	クリスマス会
7 月	プール開き、夕涼み会	1 月	もちつき会
8 月	お泊り保育（5 歳児） 広尾自治会まつり参加（4・5 歳児）	2 月	節分・豆まき会、クラス懇談会 卒園遠足（5 歳児）
9 月	敬老の日、プール納め	3 月	卒園式、お別れ会

2. 施設管理

①職員研修

月	内容
5 月	「地域情報交換会」 平成 27 年度　第 1 回　子どもに関わる相談窓口連絡会
6 月	「地域交流年間計画の実施にむけて」 2 歳児の発達と保育・心もからだもまるごと育てるあそびの力 0 歳児の発達と保育・なぜ起きる？保育園での乳児死亡事故・保護者との関係づくり 1 歳児の発達と保育・1 歳児に拓かれる世界・1 歳児保育において大切にしたい事・1 歳児と豊かな保育をつくる（環境作りと保育者の役割） 給食施設従事者研修会
7 月	市川市全職員自主研修（保育施設におけるリスクマネジメント） 平成 27 年度就学前研修（学校生活を理解する「就学に備えて」） 子ども子育て支援専門職・関東ブロックセミナー 「子どもの心と体をそだてる」・「乳歯期園児の口腔・食・体力の実態調査」 こども発達センター公開療育
8 月	千葉県子育て支援事業担当者会議研修（木更津市子育て支援事業現地視察及び研究会） 「保育園児の健康と病気」
9 月	子育て支援におけるファシリテーターの役割
10 月	給食施設の栄養管理に関する研修会
11 月	平成 27 年度子育て支援事業研修会（2 日間） 「子育てをして思う事―つながりときっかけ」（子育て中の母たちの体験談） 市川市全職員自主研修（「発達障害のある子どもを保護者と共に育てる為に」） 「困難を抱えた子どもの保育」「保護者支援の基本」 「3・4・5 歳児の発達と生活・あそび」
12 月	管理者研修
1 月	ファシリテーター育成講座（2 日間） 第 3 回　こどもに関わる相談窓口連絡会 平成 27 年度　保育士懇談会「新しい制度を理解するために、保育現場でできる事
2 月	平成 27 年度地域子育て支援拠点施設担当者研修会 講演「親子に寄り添う地域子育て支援拠点である為に～利用者理解　受容・共感相談について考える」 スキムミルクを使った調理 食育指導者研修会「講演　これからの食育の充実」 「グループ討議　地域やライフステージにおける食育」

②職員構成

園長１名　　主任保育士１名　　保育士 15 名（パートを含む）

保育補助２名　看護師１名　子育て支援センター2 名（保育士１名、支援職員１名）

栄養士３名　　調理員１名　　事務員１名　　用務員２名

〔木更津みらい学舎〕（木更津市）

■　事業報告概要　■

真舟小学校の児童数増加により定員を 40 名から 20 名増やし 60 名定員とした。全国的に子どもが増えている地域である為、今後も地域ニーズに合わせて対応したい。又、今年度も未就学児童を受け入れし、幼稚園との連携が図れた。未就学児童と小学校 1 年生から 6 年生までを預かる事により、異年齢交流ができ、自然環境に恵まれた地域で一人ひとりを支援していくことができた。高齢者施設、請西苑との交流は、サマーコンサートや敬老会、ハロウィンなどの行事を通じて図ることができた。

1．実施状況

①行事

月	内容	月	内容
4 月	新入生歓迎会・お花見・お誕生日会	10 月	ハロウィン・お誕生日会
5 月	子どもの日の祝い・お誕生日会	11 月	文化祭出品・お誕生日会
6 月	おたのしみ会・お誕生日会	12 月	クリスマス会・お誕生日会
7 月	七夕・プール開き・お誕生日会	1 月	初詣・もちつき・お誕生日会
8 月	お泊り会・日帰り遠足・お誕生日会	2 月	豆まき・バレンタインデー・お誕生日会
9 月	『敬老の日』のお祝い・お誕生日会	3 月	ひな祭り・お誕生日会

2．施設管理

①職員配置

運営責任者　常勤 1 名

学童指導員　非常勤 6 名

〔千葉みらい響の杜学園〕（千葉市）

■　事業報告概要　■

開設して２年､職員が定着し力をつけてきた｡チームケアを大切に､職員が一人で悩まないように、報告・連絡・相談を徹底して行ってきた。子どもたちも生活に慣れ、落ち着いて生活ができるようになってきた。

今年度は関係機関や地域との連携に重点を置いた。夏休みには学区の小学校、中学校との連絡協議会を開催することができた。施設の専門性を生かし学校を支援することもできた。また地域の方と一緒になって餅つき大会を初めて行った。子どもたちと地域の方で大いに盛り上がった。いつしか支援者が増え、「千葉みらい響の杜学園とともに育つ会」が発足した。ボランティアで施設の環境整備をやってくれている。

地域のきれいな街づくりを目指して、施設の前の荒れ地を整備し、子どもたちが遊べて、地域の方が休憩できる公園を、施設職員が中心になって作っているところである。

更科の職員寮を、児童の自活訓練の場として利用し、子どもたちは料理を覚えたり、一人で過ごす時間を工夫したりすることができた。また、職員と個別にゆったりと関われる時間をとることができた。

高校受験に４名の中学３年生が挑戦し、全員合格し来年度は高校生が７名になる。

1．実施状況

(1) 入所児の受け入れ

・入所理由、家庭状況等の理解
・生活の仕方、決まりを教える
・施設での生活の意味について年齢に応じて理解させる
・子ども同士で集団にとけ込めるよう配慮する
・指導員、保育士との関係づけ

(2) 退所児の準備支援と家庭調査

・家庭、親の調整（面会、文通、諸機関を通じて）
・自分の将来について、子どもなりに理解させる
・家庭復帰、進路指導

(3) 子どもの発達に有効な生活環境を作る

・環境整備
・楽しい雰囲気
・指導員、保育士、子ども同士の和やかな人間関係

(4) 問題を持つ子の支援

・問題の捉え方、原因の理解
・具体的指導の計画、実施
・個別化と集団

(5) 対外諸機関及び社会資源の活用と相互協力

・児童相談所、福祉事務所、市、町、学校、地域、他諸機関との連絡や協力

・社会資源の活用
・ボランティア受け入れ、活用
・PTA、授業参観、子ども会等への参加
・子ども同士の交流（遊び、行事、招待等）

①行事

月	内容	月	内容
4 月	入学・進級、進学を祝う会 着任式、お誕生日会	10 月	秋の寮外出、ハロウイン 川戸地区スポーツ祭、お誕生日会
5 月	春の全体外出、お誕生日会	11 月	芋掘り、七五三、響魂祭（学園祭） お誕生日会
6 月	児童健康診断、お誕生日会	12 月	クリスマス会、大掃除、餅つき お誕生日会
7 月	七夕の会、お誕生日会	1 月	初詣、お誕生日会
8 月	千児協・響の杜球技大会、キャンプ、 夏祭り、幕張花火大会、プール 小・中学校連絡会議、お誕生日会	2 月	節分、千児協マラソン大会、健康診断 お誕生日会
9 月	お月見、お誕生日会	3 月	ひな祭り、響の杜駅伝大会 巣立ちの会、お誕生日会

2. 施設管理

①職員研修・会議等

月	内容	月	内容
4 月	職員会議、理念・基本方針、事業計画について	10 月	職員会議、 発達障害について
5 月	職員会議、安全・安心対策について	11 月	職員会議、 グループワークトレーニング
6 月	職員会議、被措置児童虐待対応について	12 月	職員会議、 里親制度について
7 月	職員会議、自立支援プログラムについて	1 月	職員会議、 公文式学習の成果について
8 月	職員会議、他施設との交換研修	2 月	職員会議、 集団遊びについて
9 月	職員会議、児童相談所の業務について	3 月	職員会議、 今年度の総括

②防災計画

・毎月、避難訓練を行う。

・年１回、消防署員の指導のもと消火訓練を行う。

③職員配置

・施設長１名　・事務員１名　・家庭支援専門相談員１名　・個別対応職員１名

・児童指導員・保育士 19 名　・里親支援専門相談員１名　・心理療法士１名

・職業指導員１名　・特別指導員１名　・栄養士１名　・調理員３名　嘱託医１名

2. その他

日本公文教育研究会施設サポート部の方より、響の杜学園の実践をこのまま続けていけば、施設日本一を取ることも夢ではないと言われている。